



「お蚕さまから生まれた街」がアニメ化されます！

第三地区まちづくり協議会は2018年度、地元出身のヤポンスキーこばやし画伯協力のもと「お蚕さまから生まれた街」(歴史冊子)と大正14年と現在を比べながらまち歩きができるマップ「信州松本第三地区の今昔」を発行しました。

現在、近隣小中学校と高校の8校には地域学習教材としてお配りし、歴史冊子は市内図書館、市内小中学校の図書館で閲覧することができま



試写会の様子



高校生から制作方法を聞く様子



Zoomで上條美沙子さんからナレーション指導を受ける様子

さんの漫画データを元に、アニメーション制作のやり方を自分たちで研究しながら頑張っています。7月には実際にヤポンスキーさんも松本工業高校へ来ていただき、冒頭部分の1ページの試写を見ていただきました。ヤポンスキーさんも「自分の絵がアニメ化されるのは初めてなのでとても楽しみにしています。」とおっしゃっていました。また、ナレーションやアフレコ

清水中学校では既に毎年総合学習に活用していただいています。今年4月より市内小中学校でタブレット学習がスタートしていることから、もつと地域を知る学習に役立ててもらえることを期待しています。

歴史冊子やマップを希望される方は、第三地区地域づくりセンター、または第三地区公民館へお問い合わせください。(いずれも☎3617040)

地区の皆さんから頂いたご意見は、片倉工業(株)・(株)サンフジ企画へお届けします。今後工事などで何か気になる点や困ったことなどありましたら、第三地区地域づくりセンター、または第三地区公民館へご連絡をお願いいたします。(いずれも☎3617040)

**片倉工業(株)所有地
用途決まる**

イオンモール松本空庭東側の片倉工業(株)所有地ですが、今後の用途について正式に片倉工業(株)より第三地区に連絡が来ました。南側は今まで通りイオンモール松本の駐車場として賃貸。北側を(株)サンフジ企画《本社は東京都渋谷区》へ土地賃貸し、現在松本警察署近くにある住宅公園が移転し、同社が住宅展示場として利用されます。施工業者は(株)アスピア(事業者)・(株)サンフジ企画)で9月より工事が始まりました。住宅展示場はモデルハウスが10数棟建設されるとのことです。各モデルハウスは各住宅メーカーによる建築になります。住宅展示場のオープンには来春予定だそうです。



〈北側〉住宅公園建設予定地



〈南側〉イオンモール新駐車

ほんぼん・青山様 今年も殆どがコロナで中止



幸町の青山様の様子

コロナが収まらない状況下で、夏休みの子どもの達の行事が今年も殆ど中止になった。

あがたの森で行われる第三地区の夏まつりも、2年連続中止になったこともあり、ほんぼん・青山様は、12町会中実施したのは幸町1町会のみ。

コロナ前も少子化で御神輿の担ぎ手が少ないことから、すでにほんぼん・青山様ができない町会も多い中、コロナが追い打ちをかけた感じだ。

青山様で集まるお賽銭は各町会の子ども会運営上、大変重要な収入だったこともあり、PTA役員から困っているとの声も聞かれる。

PTA役員は1年交代ということもあり、2年連続の中止で、松本の伝統行事が継続できるかという心配も出てきている。三九郎の頃にはコロナが収まってくれていることを祈るばかりだ。



地域を知ること面白い!

清水中学校
地域フィールドワークの発表

7月17日(土) 第三地区公民館において、昨年度から延期された『第36回松本公民館研究集会・令和2年度地域づくり市民活動研究会』が行われました。私はその中の清水中学校生徒3名による地域フィールドワークの発表を見させていただきました。

まず一番印象的だったのは、明るい表情で楽しそうに発表している彼らの姿でした。自身が興味を持ったことを地域の方や専門家に直接会いに行き、お話をうかがったり、感じ考えたことをまとめ、それをスケッチブックを使って工夫をこらした発表となりました。彼らからは『伝えたい』そんな思いが強く感じられ、参加者たちを引き付ける素晴らしい発表でした。

発表を終えた3名からは「この学習で自分たちは地域の方のやさしさや関わる事の大切さを感じた。これからも地域の方たちと関わっていきたい。また、自分の知らない松本の良さがまだまだあると教えられた。」との感想を聞くことができました。



5,200万歩。この8月までの18年間に、ウォーキングで私が歩いた歩数である。1日の平均では約8千歩。18年間の長期入院をきっかけにウォーキングを始め、毎日の歩数計の数字を記録している。普段は早朝5時過ぎに自宅を出発し、1時間少し歩いて朝食前に帰宅する。コースは毎日異なる。毎朝寝床で読む新聞に載ったところに行くことが多い。新しい建物が完成した、きれいな花が咲いた、事件や事故が起きたなど、その都度行き先が決まる。

この18年間に東京と北海道へ数年間、単身赴任した。東京では、出勤時早めに出て途中下車し、隅田川沿いや銀座、佃島、雨の日は東京駅周辺の地下街を歩いて出社し歩数を稼いだ。北海道では、シカヤリス、キツネなどの動物と出会い、自然を満喫して歩いた。好きなところへの外出も困難なこの時期、我々高齢者にとって体力維持にウォーキングは最適だが、多くの人と会話し飲食ができる時が早くきて、精神的ストレスも解消したいと思う。
(武井 厚)